

## 気候情報

### 2016年9月の日本の天候

- 東日本以西で日照時間がかなり少なく、西日本では降水量がかなり多い
- 台風第16号により西日本中心の大雨
- 全国的に高温

#### 9月の天気概況

前線が本州付近に停滞しやすかった影響や台風がたびたび接近・上陸したことにより、東・西日本、沖縄・奄美では曇りや雨の日が多く、月間日照時間がかなり少なかった。特に、西日本日本海側では月間日照時間が年比64%で統計を開始した1946年以降で最も少なかった。また、月降水量は、西日本でかなり多く、東日本や沖縄・奄美でも多かった。

上旬：日本の南東海上で高気圧の勢力が強く、東日本はおおむね晴れた一方、北・西日本と沖縄・奄美では、低気圧や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多かった。1日に沖縄の南で発生した台風第12号は5日未明に長崎市付近に上陸し、九州では大雨となったところもあった。北海道では6日から7日に低気圧による大雨で河川がはん濫し浸水害が発生した。また、台風第13号の影響で各地で浸水害や土砂災害が発生した。

気温は、日本付近には暖かい空気が流れ込みやすかったため、西日本を除き気温は高く、東日本ではかなり高くなった。

旬平均気温は、東日本でかなり高く、北日本と沖縄・奄美で高かった。西日本は年並だった。

旬降水量は、北日本、西日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。一方、東日本日本海側で少なかった。東日本太平洋側と西日本日本海側は年並だった。

旬間日照時間は、沖縄・奄美でかなり少なく、北日本と西日本日本海側で少なかった。一方、東日本で多かった。西日本太平洋側は年並だった。

中旬：北日本から西日本にかけては、本州南岸沿いに停滞した前線や台風第16号の影響で、曇りや雨の日が続き、大雨となる日もあった。旬間日照時間は、東日本日本海側で年比38%、東日本太平洋側で年比26%、西日本日本海側で年比44%といずれも統計開始（1961年）以降最も少なかった。また、西日本日本海側では旬降水量が年比348%と統計開始（1961年）以降最も多かった。また、台風第16号や前線の影響により各地で大雨となり、九州や四国では17日～20日の総降水量が400 mmを超えた所もあった。この大雨により土砂災害や河川の増水、浸水害等が発生した。

気温は、全国的に旬の中頃までは年を上回ったが、旬の終わり頃は北・東日本を中心に北からの寒気が流れ込み、年を下回ったところが多かった。

旬平均気温は、沖縄・奄美でかなり高かった。北・東・西日本は年並だった。

旬降水量は、東・西日本でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。北日本は年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本でかなり少なく、北日

本と沖縄・奄美で少なかった。

下旬：前線が、旬の前半は本州南岸付近に、旬の後半は日本海から東北地方に停滞したため、東北地方以南では曇りや雨の日が多かった。28日から29日にかけては、九州北部では前線の影響で大雨となり、日降水量が400 mmを超えたところもあった。

旬平均気温は、北・西日本でかなり高く、東日本、沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、北日本で少なかった。一方、東・西日本日本海側で多かった。東・西日本太平洋側と沖縄・奄美は年並だった。

旬間日照時間は、北日本太平洋側と東・西日本で少なかった。北日本日本海側と沖縄・奄美は年並だった。

#### 9月の気候統計

月平均気温：沖縄・奄美ではかなり高く、北・東・西日本で高かった。

月降水量：西日本でかなり多く、東日本と沖縄・奄美で多かった。北日本は年並だった。

月間日照時間：東・西日本と沖縄・奄美でかなり少なく、北日本で少なかった。

(気象庁観測部情報管理室)

#### 9月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温高い方から（℃）  
名瀬 27.8
- ・月降水量多い方から（mm）  
延岡 778.0
- ・月間日照時間少ない方から（h）  
松江83.8 那覇141.8 など8地点

#### 2016年9月の年差（比）図

